第19回 十湖賞 俳句大会

伝えたい今がある

応募期間

令和8年

7月1日（水）→ 9月30日（水）

応募区分

- 一般の部
- 高校生の部
- 中学生の部
- 小学生以下の部

表彰式 令和9年2月11日（木・祝） 浜松市総合産業展示館北館4階 1号ホール

選者
※選者氏名五十音順

高柳克弘氏（「鷹」編集長）　中川正男氏（「みづうみ」主宰）
村松二本氏（「椎」主宰）　百合山真苗氏（「海坂」主宰）

2026 松島十湖 没後100年

「浜松は出世城なり初松魚」という俳句を詠んだことで知られる俳人。

主催／浜松市中央区東地域俳句の里づくり事業実行委員会、浜松市
後援／静岡県教育委員会、浜松市教育委員会、中日新聞東海本社、静岡新聞社・静岡放送、FM Haro!、浜松ケーブルテレビ株式会社

第19回 十湖賞

投句方法

郵送／FAX／メール／Webより投句いただけます。
詳しくは裏面又は、QRコードをご確認ください

浜松市中央区俳句の里づくり事業

第十九回 十湖賞 俳句大会

俳人　**松島十湖**（まつしま　じっこ）

松島十湖は、嘉永2年（1849年）、遠江国豊田郡中善地村（今の浜松市中央区豊西町）の生まれ。幼い頃から国学や報徳の道を学ぶとともに、俳諧の道にも進みました。俳句では、生涯約7000に及ぶ多くの俳句を生み、全国に数千の門人を擁し、大正時代には日本俳壇の雄として大いに名を馳せました。

松島十湖肖像画
（水野以文画、源長院所蔵）

■句　　題　**句題はありません。**
自由に俳句を詠んでください。

自分で感じたこと、思ったことを、五・七・五のリズムにのせてのびのびと表現してください。

■応募方法　専用の投句用紙、または郵便ハガキ、封書、FAX、Eメール、市HPの投句フォーム、直接持参にて受付。
応募の際は、郵便番号・住所・電話番号・氏名・俳号（任意）・学校名・学年・応募区分を記入のこと。

※ご応募の際にいただきました個人情報は、入賞時の連絡等に使用します。また、入賞された方におかれましては、今後作成する配布物等において、作品とともに、お名前、住所の一部、学校名、学年を公表させていただきますので、あらかじめご了承下さい。

※俳号記載の場合、入選時の氏名の公表及び賞状表記は一律で俳号とします。

■応募作品数　**一人2句まで**　※自作・未発表の作品に限ります。

■応募区分　● 一般の部　● 高校生の部　● 中学生の部　● 小学生以下の部

■投句料　無料

■応募締切　**令和8年9月30日（水）必着**

■賞
- ● 十湖大賞（4部門の十湖賞受賞作品の中から選出）　1句
- ● 十湖賞（各部門）　1句
- ● 区長賞（一般の部）　1句
- ● 県教育長賞（高校生の部）　1句
- ● 市教育長賞（小・中学生の部）　各1句
- ● 特選（各部門）　2句
- ● 佳作（各部門）　6句
- ● 奨励賞（各部門）　20句

■応募・お問い合わせ先

〒435-8686　浜松市中央区流通元町20番3号
浜松市中央区東行政センター　地域振興担当
第十九回「十湖賞」俳句大会係
TEL 053-424-0115 / FAX 050-3737-5872
E-mail e-shinko@city.hamamatsu.shizuoka.jp

キリトリ

→はがき表面に貼付けてお使いください。

〒435-8686
浜松市中央区流通元町20番3号
浜松市中央区東行政センター　地域振興担当
第十九回「十湖賞」俳句大会係　行

ご住所	〒	お名前	ふりがな
		俳号	ふりがな ※任意
電話番号	―　―	学校名	学年
区分	□一般の部 □高校生の部 □中学生の部 □小学生以下の部 ※レ点を付けて下さい		

よろしければアンケートにご協力ください。

◉ご年代をお教えください。
10代未満　10代　20代　30代　40代　50代　60代　70代　80代以上

◉どこでこの大会を知りましたか？　チラシ・市役所HP・雑誌広告［誌名：　］
その他（内容をお教えください）［　］

キリトリ

→投句用紙（ハガキ裏面に貼付けてお使い下さい。）

句題はありません。自由に俳句を詠んでください。
※文字はマスをつめて楷書で鮮明に書き、難解な文字には「ふりがな」を付けて下さい。

一句目（ふりがなもご記入ください）

二句目（ふりがなもご記入ください）

一人二句まで投句できます。　※自作・未発表の作品に限ります。